



外国出張報告書

平成 26 年 10 月 6 日

1. 出張国名 ガーナ、ブルキナファソ
2. 出張月 平成 26 年 8 月～9 月
3. 出張目的 連絡試験視察、実証圃場の運営他: : A
 現地で技術開発を行うための対象国と対象農産廃棄物の選定 : C

4. 成果の概要

 ガーナで実施しているマメ科作物連絡試験のうち 2 ヶ所で 1 期作目の収穫、1 ヶ所で 2 期作目トウモロコシとササゲの播種に立ち会った。

2 期作地帯 2 地点における 1 期作目トウモロコシバイオマス量は、ピジョンピーリレー区で高かった。

1 期作地帯残り 2 地点におけるトウモロコシの生育は、少雨の影響を受け、ピジョンピーリレー区で悪かった。

今年開始した 1 期作地帯 2 ヶ所の実証圃場ではトウモロコシが順調に生育していた。

 ガーナ大学に委託している資源量評価等の現地調査に立ち会った。
ナイジェリア大学から現地研究者をガーナ大学に招聘して会議を行い、技術開発課題における具体的な研究内容について意見交換した。